

令和8年度 岐阜県立羽島特別支援学校 人権教育全体計画

児童生徒の実態

- 明るく元気で、自分から挨拶ができる児童生徒もいるが、そうでない児童生徒もいる。
- 穏やかに仲間と関わることができる児童生徒もいるが、適切に接することのできない児童生徒もいる。
- スマートフォンを利用し始めた児童生徒も多く、SNS等の使い方の理解が十分ではなく、相手を傷つけたり、トラブルに発展してしまったりすることも考えられる。

当校教育目標

- 命や体を大切にし、健康に生活できる力
- 向上心と自信をもち、物事に主体的に取り組む力
- 豊かな人間関係を築き、心豊かに生活できる力

岐阜県人権教育基本方針（一部抜粋）

人権教育は、これまでの同和教育及び人権同和教育での実践を踏まえ様々な人権問題に対する認識力・自己啓発力・行動力を育成し、確かな人権感覚が身に付くよう、学校・家庭及び地域社会において行われる教育活動である。学校教育においては、全教育活動を通じ、人間尊重の気風がみなぎる学校づくりを推進する。その際、個人の尊厳を重んじ、合理的精神を養い、人と人との間に存する偏見を解消する指導を行い、不合理な差別をなくし、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができる教育を推進するよう努める。

職員研修

- 人権宣言を基にして、職員の人権意識向上に努める。
- 人権宣言を基にして、指導力を高め、聞き取る力や専門的な力の充実に努める。
- 人権宣言を基にして、指導の改善に努め、危機管理意識を高めることに務める。

岐阜県人権教育推進の重点

- 身近な生活の中にある不合理なことや差別事象をとらえたり見抜いたりすることができる力【 認識力 】
- 生活を振り返り、自己の心の中にある偏見や差別的なものの見方や考え方を改めようとする力【 自己啓発力 】
- 日常生活の中の人と人との関わりにおける差別事象に対して、正しく行動することができる力【 行動力 】

当校人権教育の目標

- 自分や友達のことを知り、人を大切にする心を養う。
- 自分の障がいや病気と向き合い、自分らしく生きていこうとする力を養う。

重点目標（※令和10年度は、「認識力」「自己啓発力」「行動力」の3つの力を重点目標として児童生徒の実態と照らし合わせて実施する。）

認識力（令和7年度重点）	自己啓発力（令和8年度重点）	行動力（令和9年度重点）
人との関わりを通して自分や仲間の良さを知ると共に、支え合う大切さに気付くことができる。	人との適切な関わり方について考えようとする。	正しい判断をし、互いを大切にした行動をすることができる。

全教育活動（各領域・教科を含む）における人権教育の取組

- 基本的な生活習慣を身につけ、身体の健康の保持に努める
- 決まりや約束を守ろうとする力の育成
- 一人一人が自己肯定感を高め、所属意識をもてる学習環境の保証
- 交流活動や社会体験を通して、豊かな人間性を培う
- 家庭や地域との連携を高め、支援できる体制を整える